

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	老年看護学概論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年	学期及び曜時限	後期	教室名	本館202,203
担 当 教 員	松永 洋子	看護師 教育機関で20年以上勤務			
《科目目標》					
日本における高齢者の置かれた状況及び高齢社会における制度やシステム、加齢や疾病が心身や生活に与える影響を理解し、加齢に伴う変化のアセスメント及び高齢者の状況や場に応じた高齢者や家族への支援の在り方を検討できる。					
《成績評価の方法と基準》					
【評価方法】終講試験80% 課題レポート・授業態度(提出期限等)20%					
【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
堀内ふき・大淵律子 ナーシング・グラフィカ老年看護学① 高齢者の健康と障害 MCメディカ出版 (デジタル版) 厚生労働統計統計協会 国民衛生の動向 最新版					
《授業外における学習方法》					
高齢者に関心を持つことが老年看護学の学習の始まりです。社会生活を営む高齢者の様子を日常生活の中でも観察したり、身近に高齢者の方がいる場合はコミュニケーションをとるなど高齢者の方に興味や関心をもってください。					
《履修に当たっての留意点》					
社会学、看護学概論、社会保障制度、地域在宅看護概論での学習と結びつけながら、日本社会の背景を踏まえながら広い視点で老年期にある対象を理解しましょう。					
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	・老年期をライフサイクルの流れの中で説明できる ・高齢者に関する統計的特徴について多角的に説明できる	教科書 P.18-32	教科書の該当箇所を読み、予習して授業に臨む ☐ ☐
		各コマにおける授業予定	高齢者の理解① ライフサイクルからみた高齢者 高齢者の特徴と理解		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	・高齢者の健康の目標について述べることができる ・高齢者の健康状態をアセスメントする方法を説明できる ・高齢者のQOLを維持向上させるかかわりについて説明できる	教科書 P.33-57	教科書の該当箇所を読み、予習して授業に臨む ☐ ☐
		各コマにおける授業予定	高齢者の理解② 高齢者にとっての健康 高齢者とQOL		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	・高齢者の身体・精神・社会的な特徴について説明できる	教科書 P.59-85	教科書の該当箇所を読み、予習して授業に臨む ☐ ☐
		各コマにおける授業予定	高齢者の理解③ 加齢に伴う身体・精神・社会的機能の変化		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	・高齢者とその家族の生活する場の特徴について説明できる	教科書 P.88-103	教科書の該当箇所を読み、予習して授業に臨む ☐ ☐
		各コマにおける授業予定	高齢者をとりまく社会① 高齢者の生活と家族 高齢者が生活する場		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	・高齢者を支える制度の全体像について説明できる	教科書 P.106-137	教科書の該当箇所を読み、予習して授業に臨む ☐ ☐
		各コマにおける授業予定	高齢者をとりまく社会② 高齢者を支える制度・社会資源		

授業の方法		内 容		使用教材	
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	・地域包括ケアシステムについて説明できる	教科書 P.142-158	教科書の該当箇所を読み、予習して授業に臨む ☐ ☐
		各コマにおける授業予定	地域包括ケアシステム 地域包括ケア・在宅医療		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	・介護保険施設のそれぞれの特徴について説明できる	教科書 P.159-182	教科書の該当箇所を読み、予習して授業に臨む ☐ ☐
		各コマにおける授業予定	介護保険施設 地域密着サービス デイサービス・デイケア		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	終講試験		
		各コマにおける授業予定	終講試験		